

第 6 号様式（第 5 の 2 関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和 8 年度 第 1 回鹿児島中央警察署協議会
会 議 日 時	令和 8 年 6 月 25 日（木曜日）午後 3 時から午後 5 時 10 分まで
会 議 場 所	鹿児島中央警察署会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 13人 2 警察署 署長以下 14人
（会議の概要） 1 会議次第 (1) 開会 (2) 会長挨拶 (3) 署長挨拶 (4) 協議 ア 管内治安概況説明 イ 諮問・答申 ウ 警察活動に対する意見・要望等 (5) 閉会 (6) 鑑識活動体験 2 諮問・答申 今回の諮問・答申は、採用活動と災害対処の 2 つのテーマで実施した。 (1) 警察官及び警察職員の採用活動について 警察署長から「本県警察官の採用試験を多くの若者に受験してもらうには、どのような方策を実施すべきか、委員の方の考えを聞かせてもらいたい。」旨の諮問があり、委員から「初任給が高いので、給与の広報をもっとすべきではないか。」「県警察への就職率の高い高校などをターゲットに定めて広報すべきではないか。」「SNS で明るい活動を発信してはどうか。」「メディアを活用して災害救助などの格好良い姿をより多く発信してはどうか。」等の答申があった。 (2) 災害への備えについて 警察署長から「錦江湾直下型地震が発生すると、最大で 3 メートル以上の津波が来ると言われている。もし災害が発生した場合、どのような点が問題になると考えられるか、御意見を聞かせてもらいたい。」との諮問があり、委員から「神奈川県の鎌倉などでは、外国人向けの避難誘導標識が整備されているようだ。誰が見ても分かる表示等を増やすことはできないか。」「アンダーパス浸水時に車両が進入出来ないようにする装置は出来ないか。」「若い人は自分のスマホで避難場所を調べられるが、高齢者はそれができないので、高齢者にもわかりやすい避難場所を示すチラシ等があればよい。」「避難が長引くと性犯罪が増えると聞いた。避難所に警察官が 1 人でも常駐してくれると安心する。」「災害時、消防や自衛隊などは救助に当たるということが想像できるが、警察の仕事が災害と結びつけてイメージしにくい。実際どのような業務があるのかももっと広報してみてもどうか。」等の答申があった。 3 委員からの意見・要望等 委員から「プロ野球の監督が子供に対する暴行で逮捕された事件に関して、児童相談所からの連絡により警察が臨場し逮捕したと報道されているが、このようなケースがよくあるのか。」旨の質問があり、警察署から「当該事件については報道されている内容しか把握していないが、一般的には暴行事件との通報で現場臨場した際には、状況に応じて注意や事件処理等を行っている。」旨の説明があった。	
備 考	